

成井市営住宅浄化槽更新工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
00	タイトル・図面リスト				
M-01	機械設備工事特記仕様書-1	—	E-01	電気設備工事特記仕様書	—
M-02	機械設備工事特記仕様書-2	—	E-02	概要・配置図	1/200・1/3000
M-03	概要・配置図	1/200・1/3000	E-03	電気設備図	1/100
M-04	A棟、集会所配置図（改修前）	1/100	E-04	浄化槽参考図	1/50
M-05	A棟、集会所配置図（改修後）	1/100	E-05	制御盤参考図	—
M-06	A棟立面図 2、3階平面図	1/100			
M-07	B棟配置図（改修前・後）	1/100			
M-08	B棟立面図 2、3階平面図	1/100			
M-09	勾配図	1/100			
M-10	柵リスト	—			
M-11	浄化槽参考図	1/50			
M-12	浄化槽配筋参考図	1/50・1/10			
M-13	制御盤参考図	—			

縮小率	A-2 : 100%
	A-3 : 71%
	A-4 : 50%

空 気 調 和 ・ 換 気 設 備	1. 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気 条 件</th> <th colspan="4">室 内 (調 整 目 標 値)</th> </tr> <tr> <th>夏 季</th> <th>温 度 (D B)</th> <th>湿 度</th> <th>一 般 系 統</th> <th>温 度 (D B)</th> <th>湿 度</th> </tr> <tr> <td>9時</td> <td>34.9℃</td> <td>51.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12時</td> <td></td> <td></td> <td>28.0℃</td> <td>45%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14時</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16時</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>冬 季</th> <th>温 度 (D B)</th> <th>湿 度</th> <th>温 度 (D B)</th> <th>湿 度</th> <th></th> </tr> <tr> <td></td> <td>-0.2℃</td> <td>69.9%</td> <td>19.0℃</td> <td>40%</td> <td></td> </tr> </table>	外 気 条 件		室 内 (調 整 目 標 値)				夏 季	温 度 (D B)	湿 度	一 般 系 統	温 度 (D B)	湿 度	9時	34.9℃	51.0%				12時			28.0℃	45%		14時						16時						冬 季	温 度 (D B)	湿 度	温 度 (D B)	湿 度			-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%	
	外 気 条 件		室 内 (調 整 目 標 値)																																															
	夏 季	温 度 (D B)	湿 度	一 般 系 統	温 度 (D B)	湿 度																																												
	9時	34.9℃	51.0%																																															
	12時			28.0℃	45%																																													
	14時																																																	
	16時																																																	
	冬 季	温 度 (D B)	湿 度	温 度 (D B)	湿 度																																													
		-0.2℃	69.9%	19.0℃	40%																																													
	2. 配管材料	<p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>4) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管</p> <p>5) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>6) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管</p>																																																
	3. 弁類	図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。																																																
	4. 空調機用トラップ	トラップの形式はフロートボール式 (備置型) ※ FRP製保温型																																																
	5. 鋼板製煙道	1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm 2) ばい煙濃度計 ※ 取付ける ・ 取付けない																																																
	6. ばい煙濃度計	3) ばいじん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。																																																
	7. 冷却塔	投光器及び受光器は、送風機付きとする。																																																
	8. ユニット形 空気調和機	標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。																																																
	9. ファンコイルユニット	コイル通過後のケーシングに錆じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。																																																
	10. パッケージ形 空気調和機	風量30,000m ³ /hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。																																																
	11. マルチパッケージ形 空気調和機	冷水水管の接続部 (往・還) にはボール弁を取付ける。																																																
	12. 集中管理リモコン 個別リモコン	※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は、ダイヤフラム式流量可変式 ・ カートリッジオフイス形)																																																
	13. オイルポンプ	床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。																																																
	14. 地下オイルタンク	インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。																																																
	15. オイルサービスタンク	内外渡配線は、原則として冷媒管と共管とする。(エアコン含む)																																																
	16. ダクト	パッケージ形空気調和機の記載による。																																																
17. チャンパー等	リモコンの系統区分は図示による。																																																	
18. 吹出口・吸込口の ボックス	形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形																																																	
19. グリス除去装置	1) 据付け方法は ※ 標準図 (施工32) (二重設タンク) ・ 標準図 (施工33) (タンク室有り)																																																	
20. 風量測定口	2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト																																																	
21. 温度計	3) 遠隔油量指示装置 (液面計は (・ 抵抗変換式 ・ 磁歪式) で (・ 屋内 ・ 屋外) より油量監視用) を取付ける。																																																	
22. 圧力計	4) 基礎杭は ※ 不要																																																	
23. 定風量・変風量 ユニット	5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事)																																																	
24. 冷温水管等のエア抜き	油面計はゲージ式 (側圧式) とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナールト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法																																																	

25. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。
26. 防振基礎	防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。
27. 空調用流体の水質基準	日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用水ガイドライン) による。
28. フィルターの予備品	空調調和機器等又はフィルターからの装着枚数の100%を予備品 (持付) として納める。 2) フィルターは総枚数の (・ 50% ・ 100%) に当たるフィルターを予備品 (持付) として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。
排 煙 設 備	1. ダクト ※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 (厚1.6mm) ・ パネル形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ スリット形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ ダンパー形 (・ 天井内取付) 2. 排煙口 3. 排煙口開放及び復帰方式 4. 排煙風量測定
自 動 制 御 設 備	1. システム構成・機能 図示による。 2. 自動制御機器 調節器等の取付け高さは ※ 1300mm ・ 屋内用キャビネットは ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 有り (構成機能は図示による) ・ 無し 3. 自動制御盤 4. 中央監視制御装置 5. 計装工事の配線 1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。天井隠への配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項3.9.電線類の規格による。 (機器、盤類はこれによらずともよい) 用途: ①電線線、接地線 ②電気式の調節器 (サーモ・ヒューム等) 用電線 ③各種検出器 (温度・湿度等) ・ 操作器 (バルブ・ダンパー等) における弱電信号、通信線を除く制御線
衛 生 器 具 設 備	1. 一般事項 型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 大便器、小便器には、標記板 (アクリル板に印刷可) を取付ける。形式は (※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型) とする。 洗浄水量4リットル/回以下とする。 ※ 個別感知方式 (※ AC電源 ・ 乾電池) ・ 手動式 電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池 車椅子用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、 ※ 設ける ・ 設けない 操作方式 ・ 電気開閉式 (・ センサー式 ・ タッチスイッチ) ・ 手動式 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 4. 大便器用洗浄弁 5. 温水洗浄便座 6. 器具と排水管接続 7. 水栓 洗浄用水加温方式は (・ 瞬間方式 ・ 貯湯方式) とし、付加機能は図示による。 ※ 標準図 (施工65) ・ 標準図 (施工66) ・ 水栓は節水コマ付きを採用する。 ・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。
給 水 設 備	1. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 1) 一般配管用 ※ 水道用ポリ塩化ビニル管 (HVP) ・ 架橋ポリ塩化ビニル管 (HVP) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) ・ 架橋ポリ塩化ビニル管 (HVP) 2) 土間配管用 ※ 水道用ポリ塩化ビニル管 (HVP) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) ・ 架橋ポリ塩化ビニル管 (HVP) 3) 地中配管用 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) ・ 水道配水用ポリ塩化ビニル管 ※ 水道用ポリ塩化ビニル管 2. 弁類 1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の (・ 止水栓 ・ 弁類) は水道事業者指定品とする。 1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り (・ 直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借用 (・ 直読 ・ 遠隔表示) 現地表示式 (直読式) の表示機構は ※ 湿式700'式 ・ 乾式デジタル式 遠隔表示式は (※ バルス式 ・ 電文式) 発信器を備える。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 (機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図 (機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。 3) 遮断弁の駆動方式は (※ 電気式 ・ 機械式) とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1500mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キーハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を (※ 設ける ・ 設けない) ものとする。 2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁がつか、散水栓がつか等はコングリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)
排 水 設 備	1) 屋内汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) (第1樹まで含む) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 2) 屋内雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP) ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 3) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) (第1樹まで含む) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (車道部) 4) 屋外排水管 記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。 2. 排水金物

排 水 設 備	3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ 4. 接続納付金等 5. 樹のコンクリート巻き 6. 満水試験継手
給 湯 設 備	1. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 弁類 3. 保温
消 火 設 備	1. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 消火栓弁の耐圧 3. 保温 1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (SUS304) ・ 中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) ・ ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ・ 中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e 2・(ハ)・VII による) ※ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水管 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 閉開弁の材質は ・ 鋼板製 (要部青銅製) ・ ステンレス鋼板製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製
ガ ス 設 備	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルク貯槽 6. ガスメーター 7. 容器廻りの配管 8. 容器転倒防止
浄 化 槽 設 備	① 処理種別及び方式 ② その他 ・ 小規模合併処理 (・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式) ③ 合併処理 (・ 接触床方式) 図示による。
雨 水 利 用 設 備	1. システム構成その他 図示による。 2. 配管材料 1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PA) (SGP-FPA) 2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) (SGP-FPD) 3) 地中配管用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バルス式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁 目幅の有効間隔は (※ 5mm ・ mm) とする。 構成その他は図示による。
冷 媒 の 回 収 方 法 に 関 し	冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は (※ 本工事 ・ 別途工事) とする。 (1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ① 第1種フロン類回収業者の登録通知書 (都道府県知事登録) の写し ② 事前確認書の写し ③ 回収依頼書の写し ④ 引取証明書 ⑤ 破壊証明書の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行ない、監督職員に次の書類を提出する。 ① 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し

石綿含有設備資材の処理について

I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法

- 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。
撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。
- 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
(1) ダクトフランジ部
ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。
1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。
2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。
3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。
(2) たわみ継手フランジ部
たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。
1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。
2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。
3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。
(3) 配管フランジ部
配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。
1) 配管の切断は、フランジ部分にからぬ箇所で行う。
2) 成形成温材付き配管の曲線部
成形成温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。
1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形成温材に飛散抑制剤の塗布を施すととも、成形成温材前後の保温材を撤去する。
2) ビニールシート等で成形成温材を包み配管表面でテープ止めしと密封する。
3) 配管の切断は、密封部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。

II. 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤去費・運搬費・処分費は別途)

- 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
- 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。
- 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を出す。
- 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。

ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S-NS

成形成温材付き配管撤去要領図 S-NS

建築物解体工事 (機械設備の部)

I. 工 事 概 要 (解体工事の部)

- 工事内容 (解体工事の部)
- 特記仕様書 (機械設備の部) I. 2. 建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。
2) 上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を含めて全て撤去する。
アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋め戻し・整地は別途建築工事とする。
3) 本工事による撤去機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。(図面は参考とする)
(1) 建物については、
① 重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。
図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。
(コンクリート基礎の撤去は建築に含む。)
② 人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。
フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。
③ 熱源の残油はタンク及び配管を含み回収し、適切に処理するものとし、(※ 本工事 ・ 別途工事) とする。
(2) その他の機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機による取り壊しとする。
(3) 屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。
図示された樹類のうち、量水器樹、弁樹、散水栓BOX、ため樹、インパート樹は、建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。
配管およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。
(4) 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。
(5) 撤去する配管、ダクト (付属品含む) の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。
(6) 浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。
(浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない)

II. 工 事 仕 様 (解体工事の部)

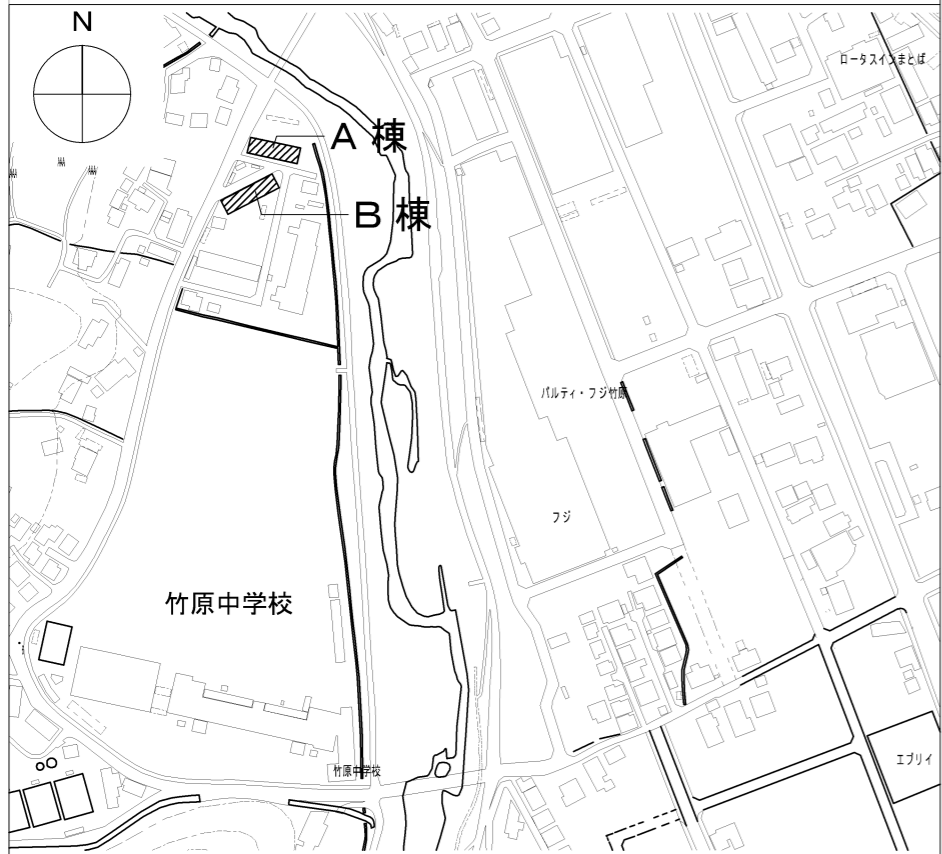
- 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁庁舎部の「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)」 (以下、「解体共通仕様書」という。) により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書 (機械設備工事の部) による。

成井市営住宅浄化槽更新工事		
特記仕様書 (工種別事項)	M	
竹原市建設部都市整備課		02

■ 工事名称・その他				
工事名称	成井市営住宅浄化槽更新工事			
建築用途	主用途 市営住宅			
工事場所	住居表示 竹原市下野町 2308-1			
工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修・用途変更・大規模の模様替・移転・取りこわし・模様替			

■ 構造・規模				
A棟	構造・規模	鉄筋コンクリート造、3階建	延床面積	1138.11
B棟	構造・規模	鉄筋コンクリート造、3階建	延床面積	1037.40

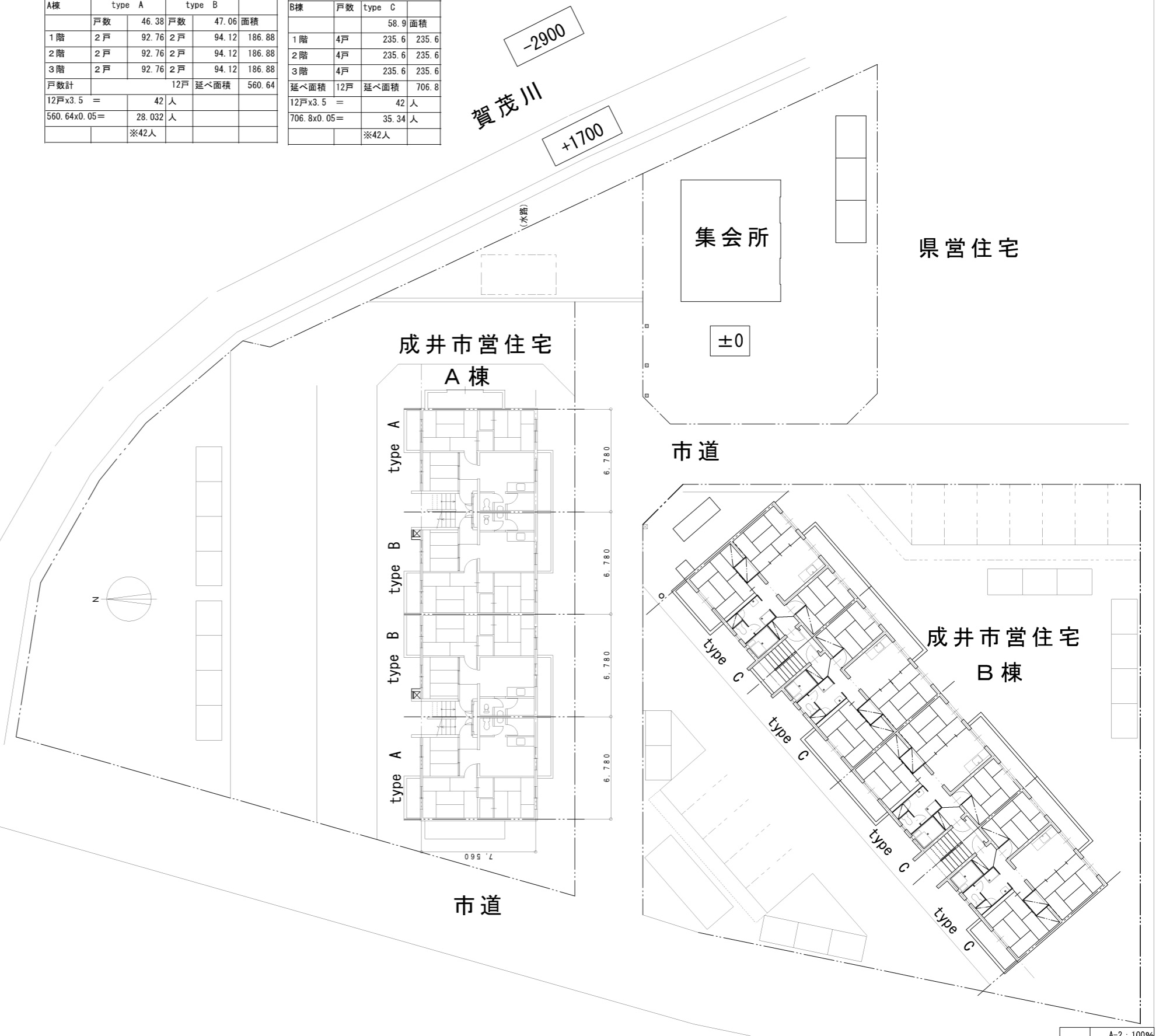
- 工事内容
- 成井市営住宅の浄化槽を単独槽から合併浄化槽へと更新する
- 機械設備
- 合併浄化槽(84人槽)を集会所敷地内に新設する
 - 合併浄化槽への汚水管接続(A棟及びB棟)、集会所は汲み取りのままとする
 - 雑排水管を汚水管、雨水管へ分離
 - 既存浄化槽(A棟、B棟共)の埋戻し、原水ポンプ槽(A棟)埋戻し
- 電気設備工事
- 浄化槽への電源供給
 - A棟、撤去原水ポンプ槽の電源配線利用、制御盤への接続
 - 集合計器盤(MCCB2P30/20A×1→30A)に取替



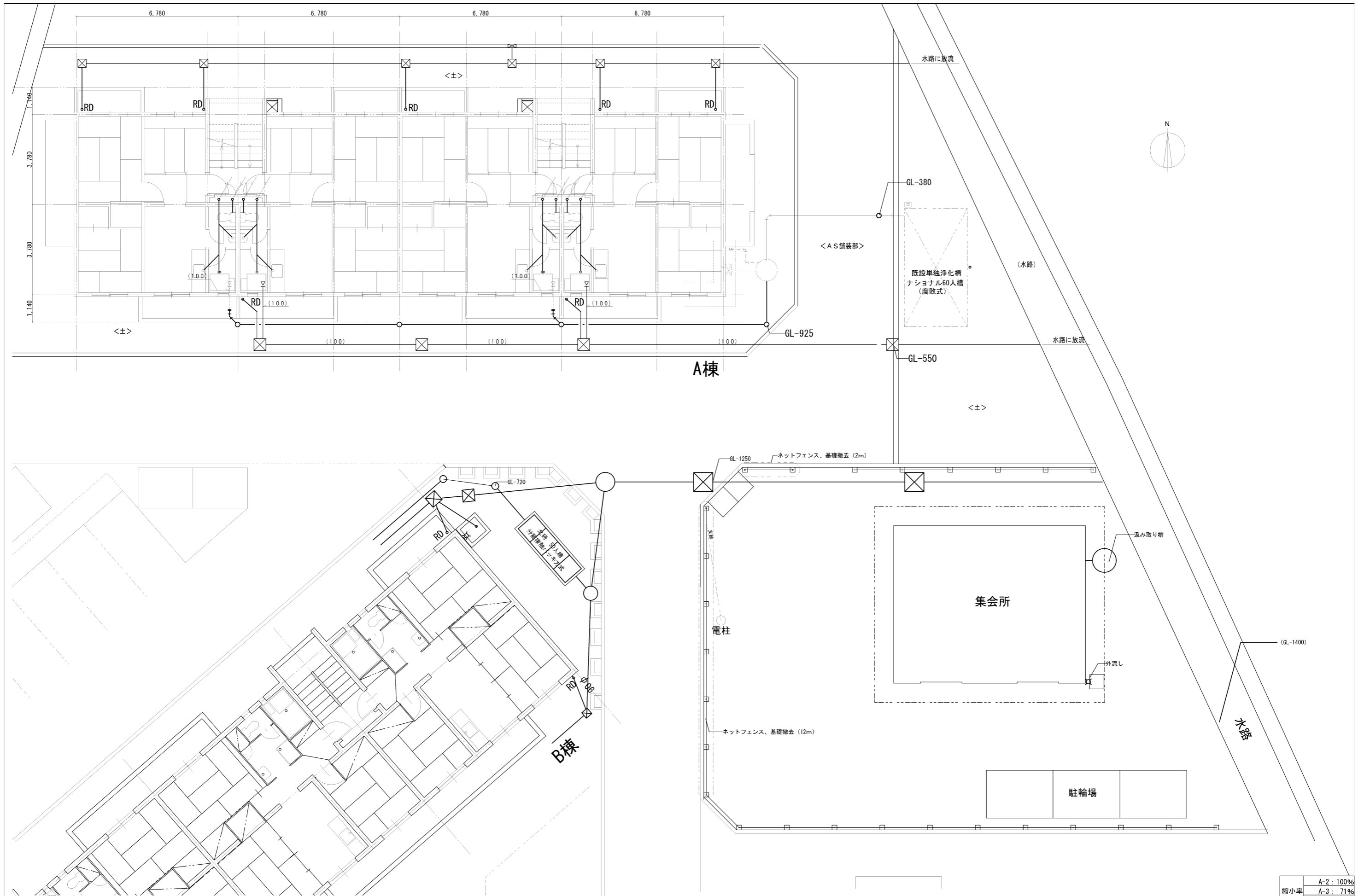
配置図 1/3000

A棟	戸数	type A	type B	面積	
1階	2戸	92.76	2戸	94.12	186.88
2階	2戸	92.76	2戸	94.12	186.88
3階	2戸	92.76	2戸	94.12	186.88
戸数計		12戸		延べ面積	560.64
12戸×3.5	=	42人			
560.64×0.05	=	28.032人			
		※42人			

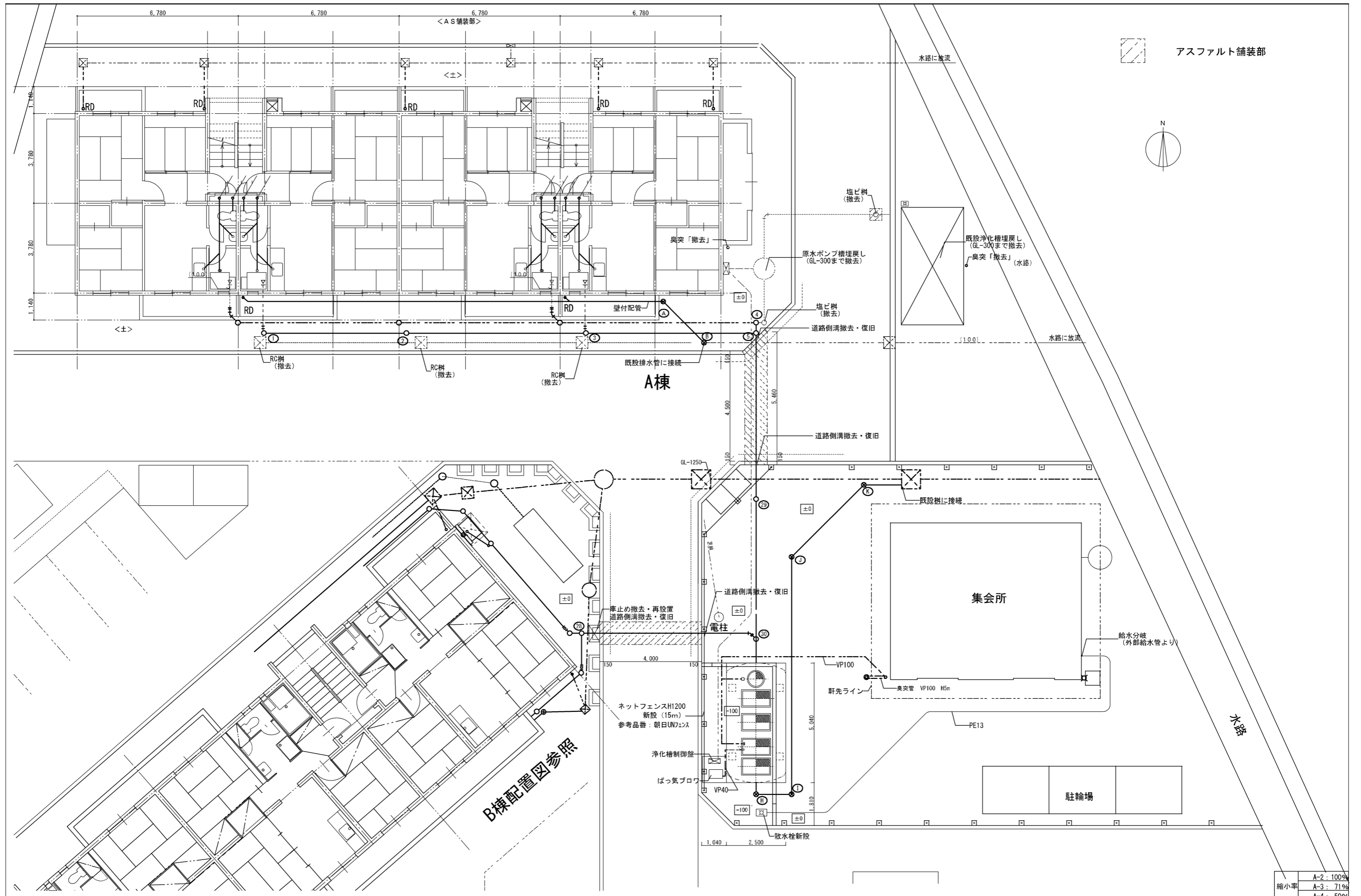
B棟	戸数	type C	面積
1階	4戸	235.6	235.6
2階	4戸	235.6	235.6
3階	4戸	235.6	235.6
延べ面積	12戸	延べ面積	706.8
12戸×3.5	=	42人	
706.8×0.05	=	35.34人	
		※42人	



縮小率	A-2: 100%
	A-3: 71%
	A-4: 50%



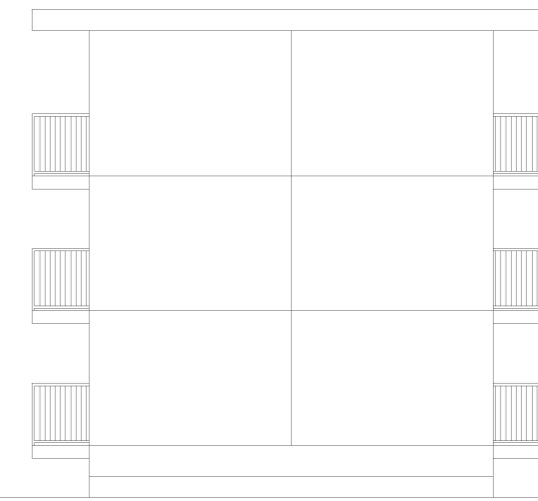
縮小率	A-2 : 100%
	A-3 : 71%
	A-4 : 50%



B棟配置図参照



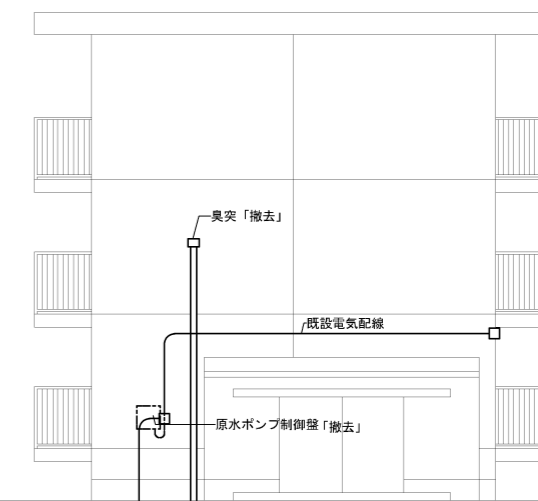
北側立面図



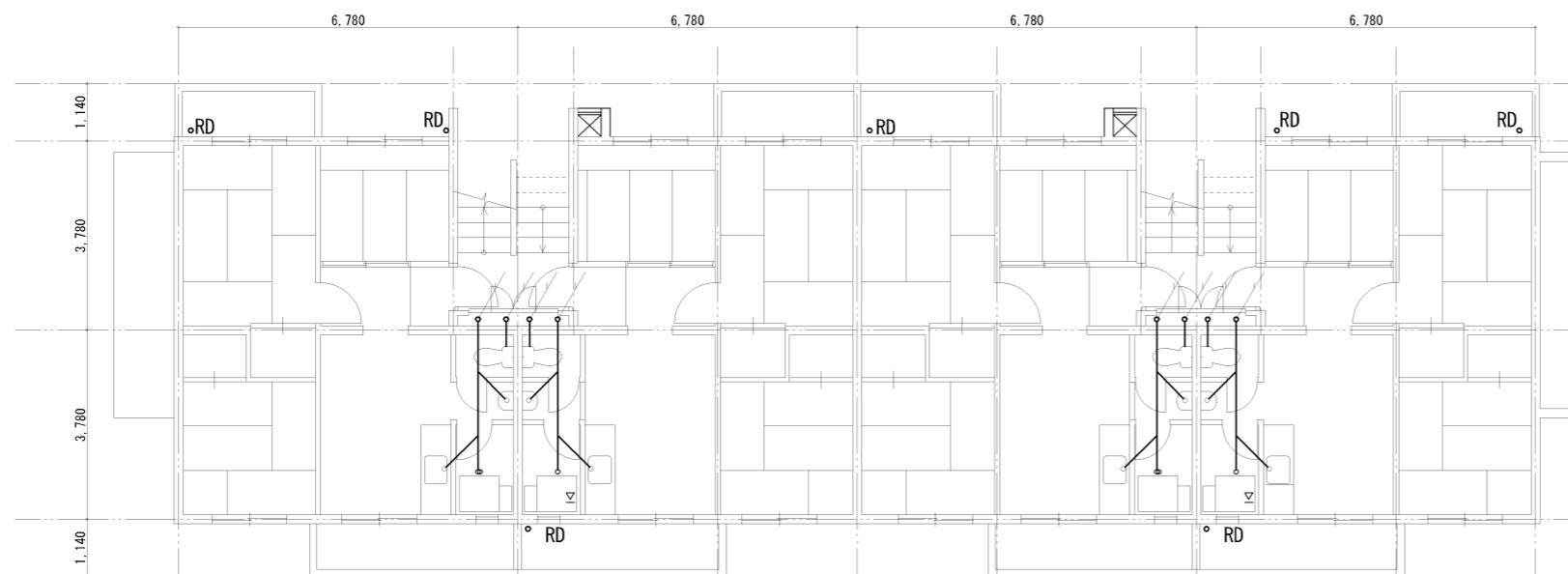
東側立面



南側立面図



西側立面

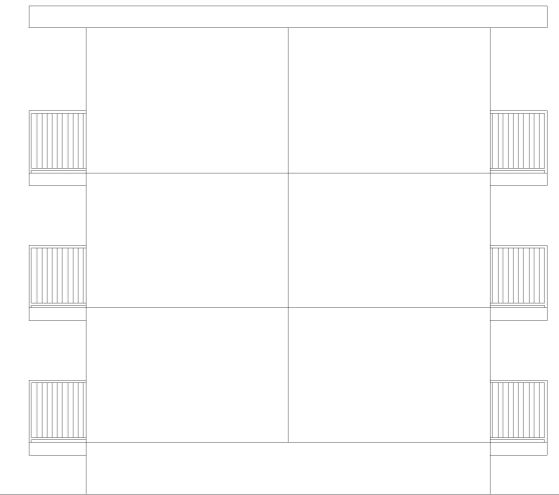


2階、3階平面図

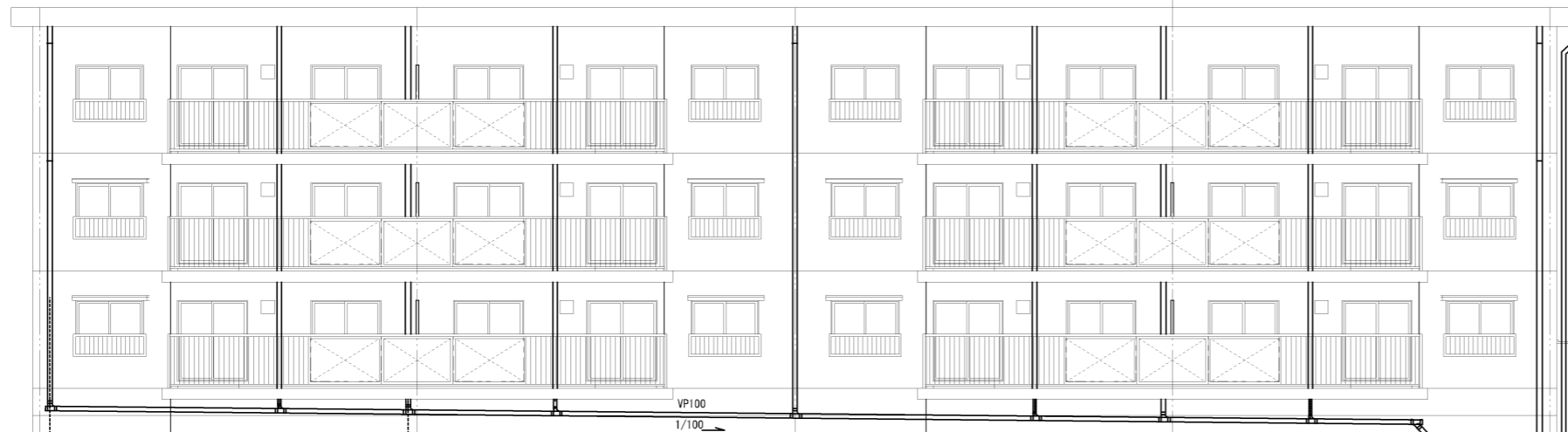
縮小率	A-2 : 100%
	A-3 : 71%
	A-4 : 50%



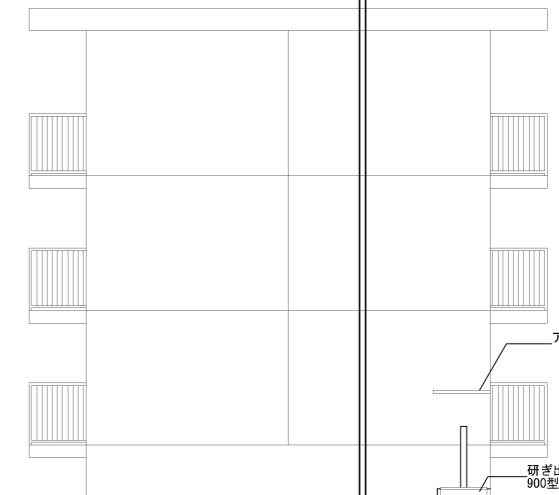
北側立面図



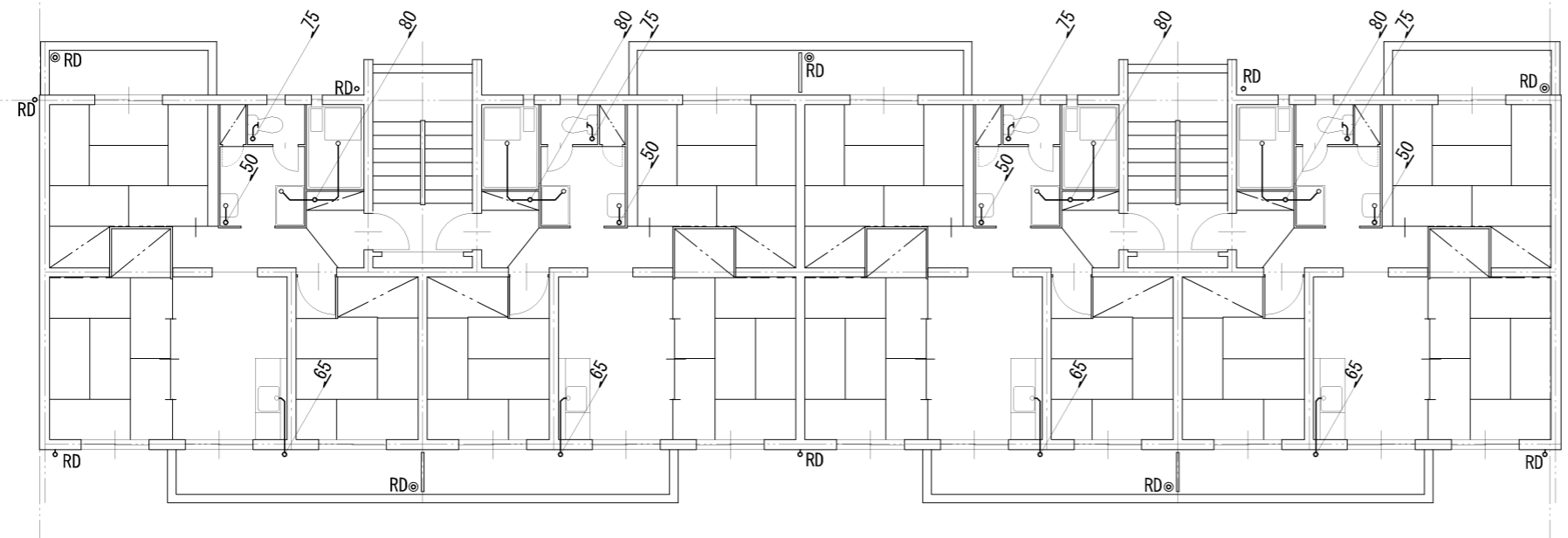
東側立面



南側立面図

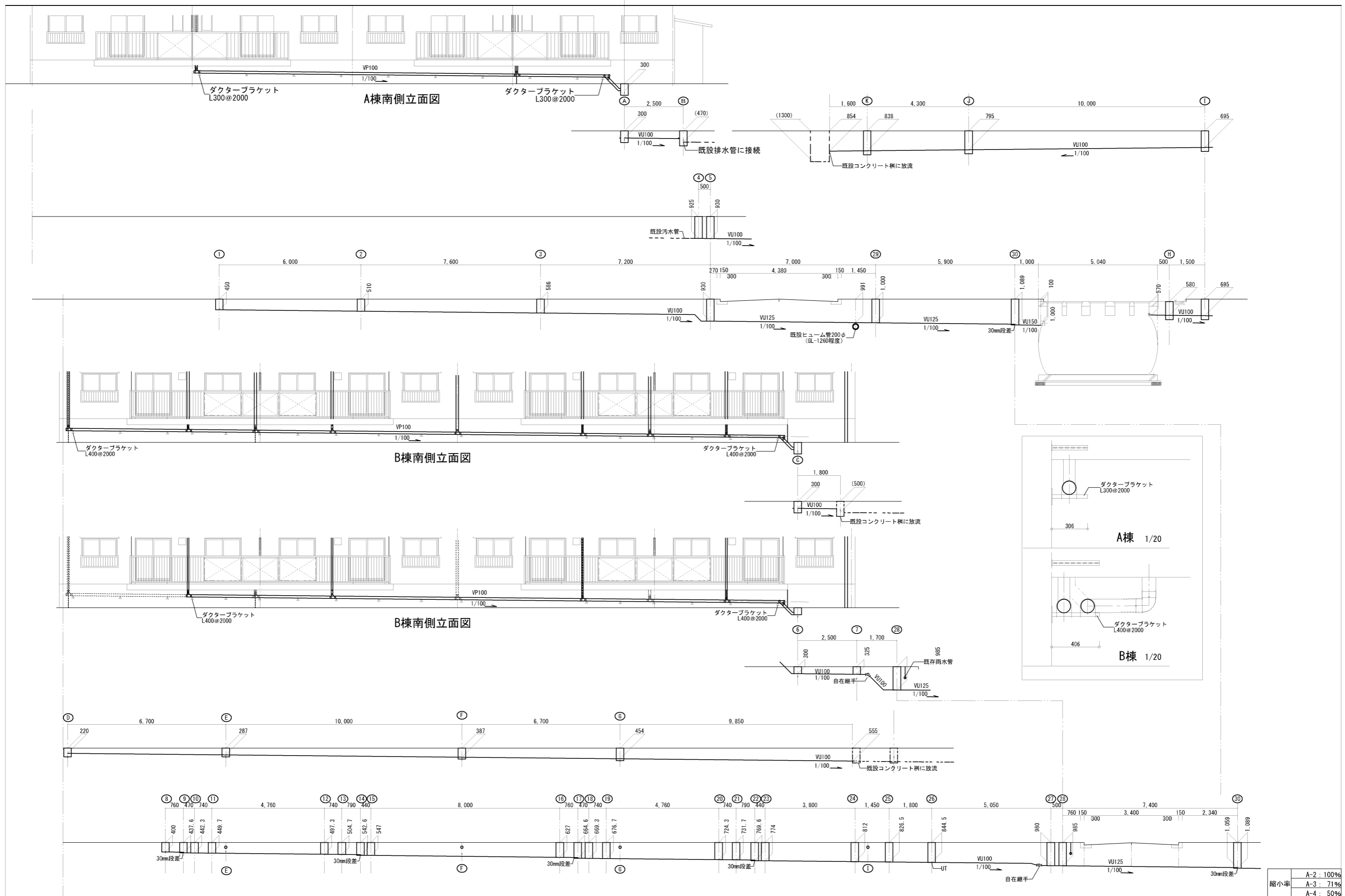


西側立面

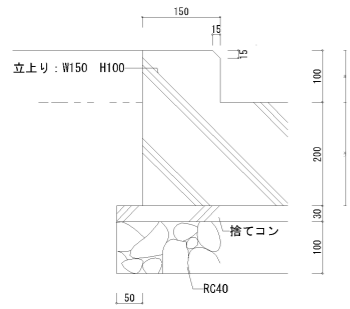


2階、3階平面図

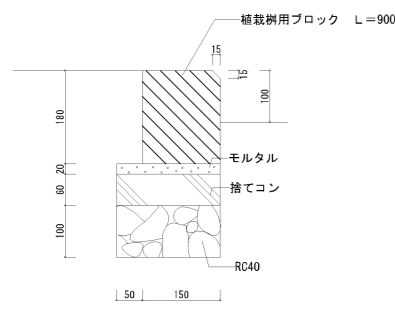
縮小率	A-2 : 100%
	A-3 : 71%
	A-4 : 50%



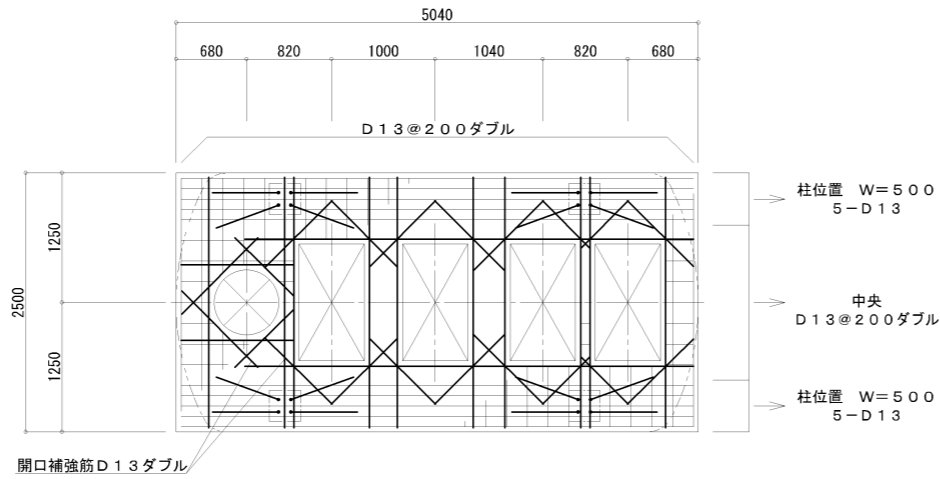
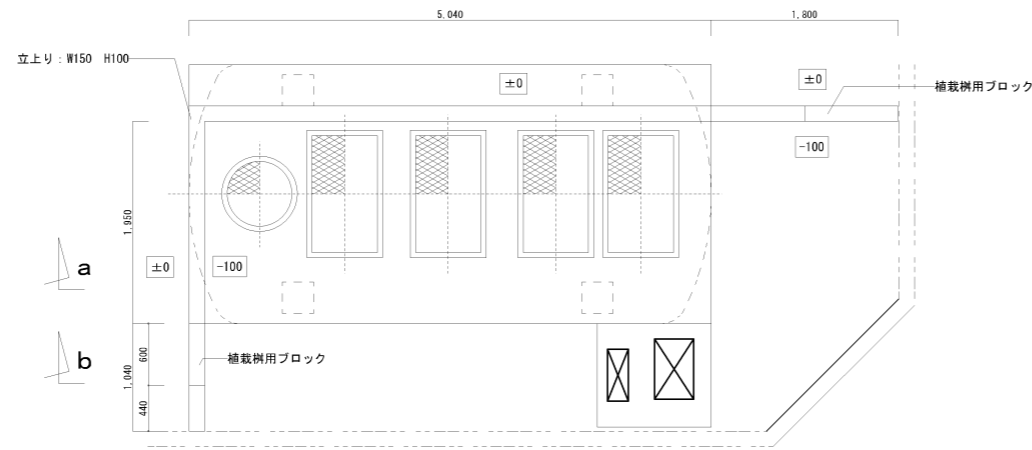
縮小率	A-2 : 100%
	A-3 : 71%
	A-4 : 50%



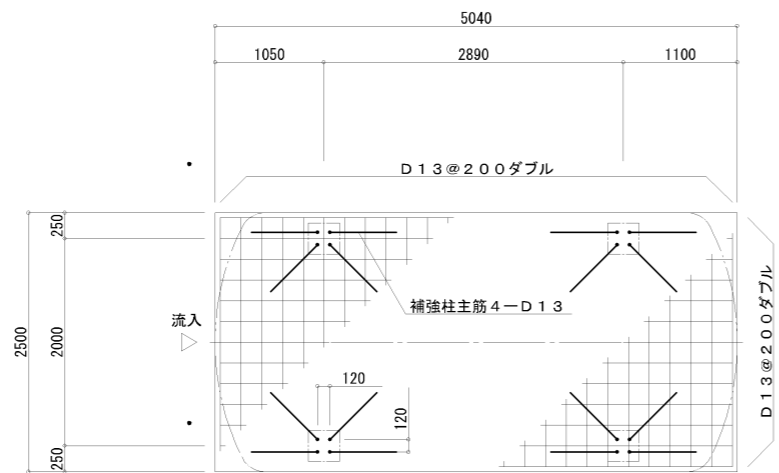
a部 1/10



b部 1/10



スラブ配筋図 1/50

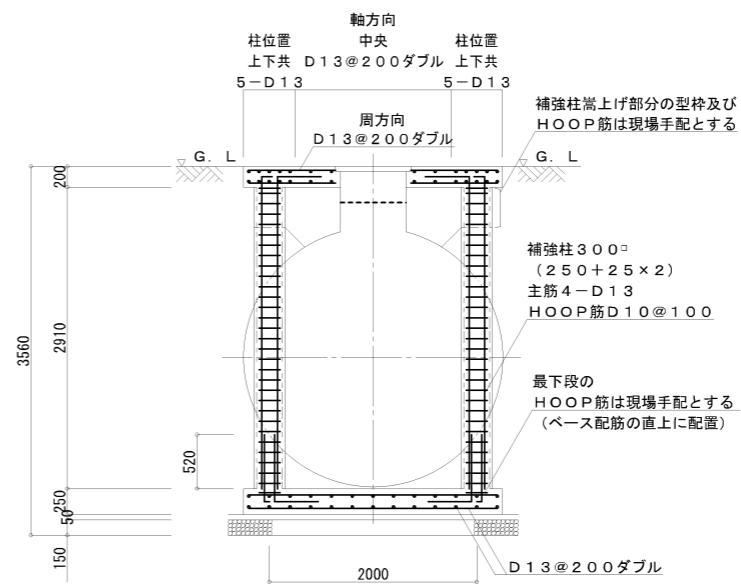


ベース配筋図 1/50

OSB4680B

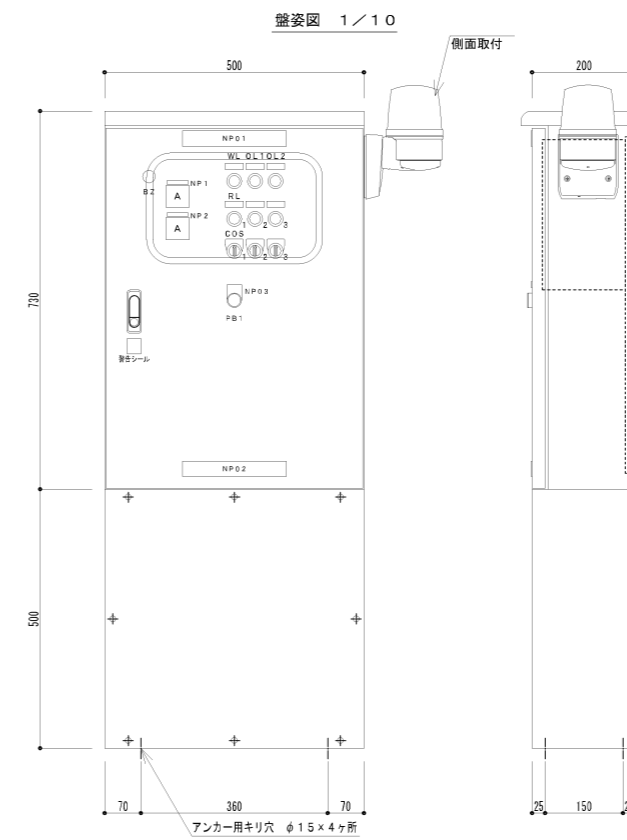
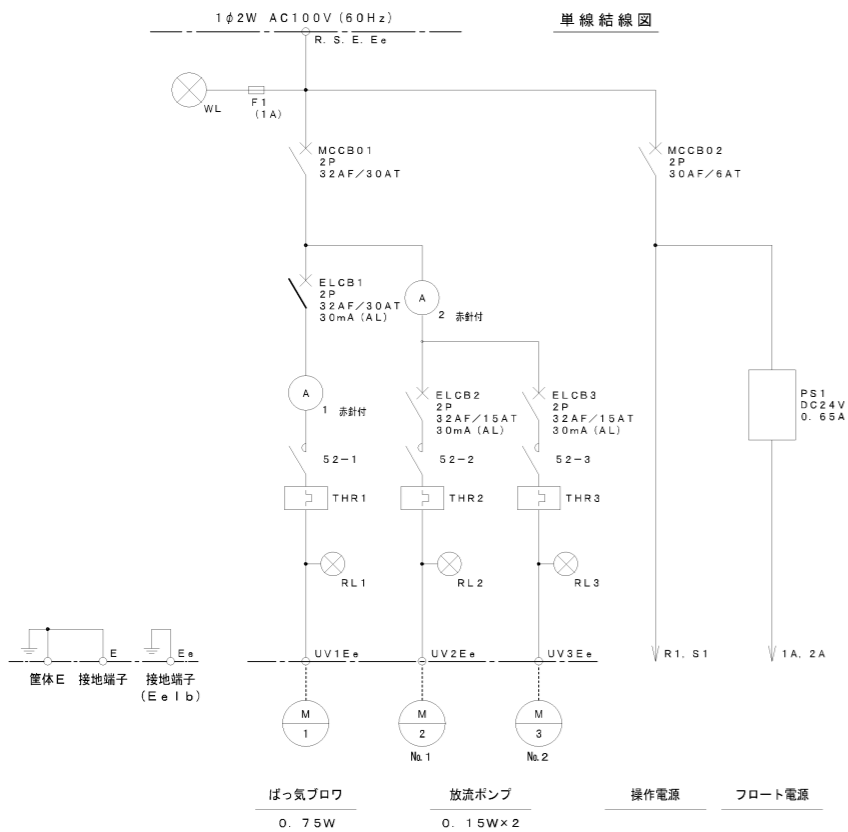
一般事項	
コンクリート	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
地業	砕石又はRC 40~0

- 注1) 上部は乗用車荷重とする。
- 注2) 図中の「G. L」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注3) 本設計条件における必要地耐力は 52 KN/m^2 とする。
(実際の工事業者が確認後施工の事)
- 注4) 現状嵩上げ高さ: 300mm、最高嵩上げ高さ: 300mmまで



[参考図面: フジクリーン工業株式会社]

縮小率	A-2: 100%
	A-3: 71%
	A-4: 50%



制御盤仕様

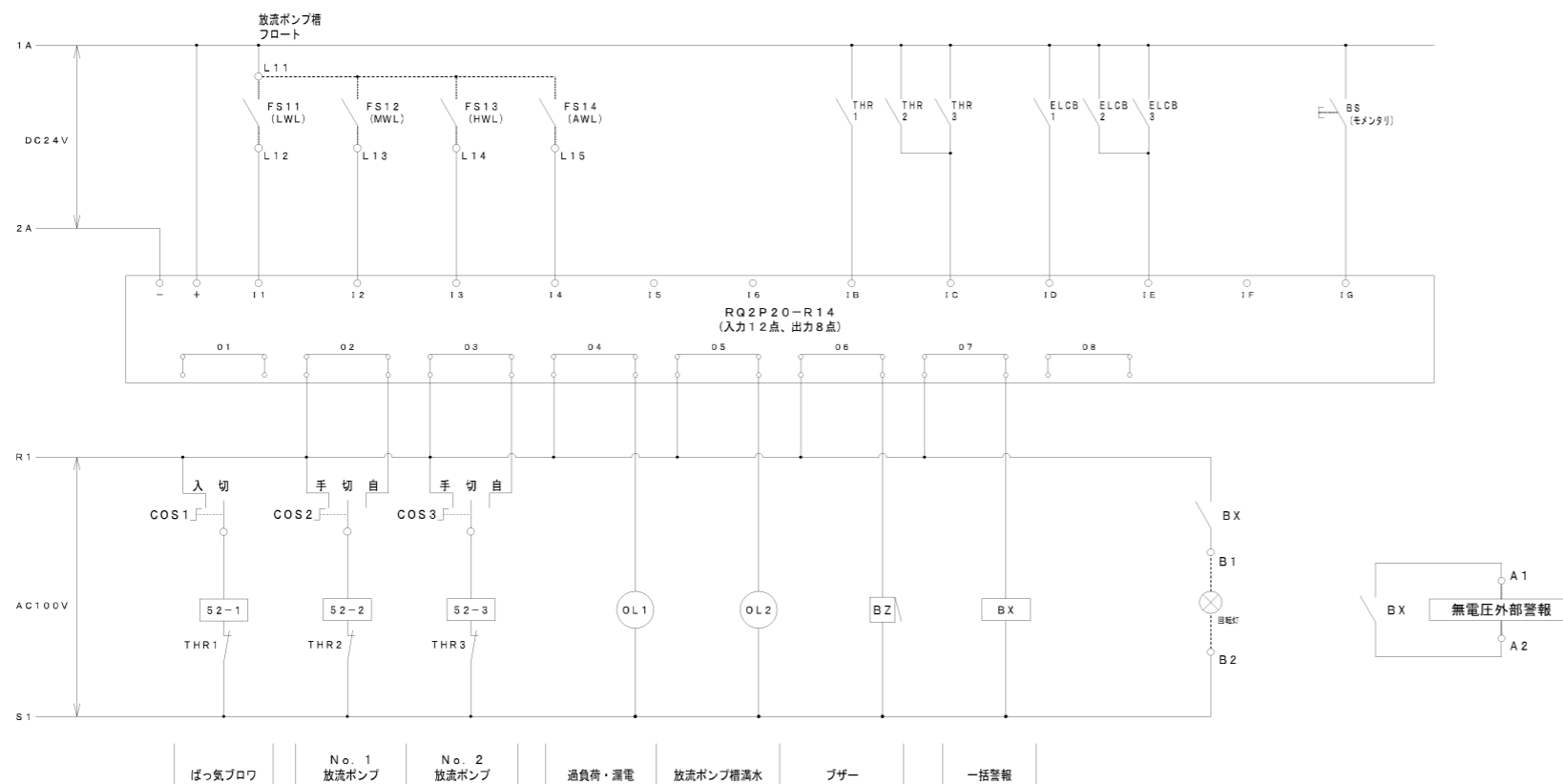
設計番号	OSB4680B
型式	PVR103 (HP) - EN
構造	水切、防水・防塵構造
板厚 (鋼板製)	本体 1.6 t (中板 2.3 t) 扉 1.6 t
塗装	外面 マンセル5Y7/1 ※耐塩塗装 内面 マンセル5Y7/1 ※耐塩塗装

注) ランプは白熱球とする。

銘板表

記号	名称
NP01	浄化槽制御盤
NP02	フジクリーン株式会社
NP03	プザー停止
NP1	ばっ気ブロウ
NP2	放流ポンプ

操作回路図



[参考図面：フジクリーン工業株式会社]

縮小率	A-2 : 100%
	A-3 : 71%
	A-4 : 50%

MAS
Architect Studio

一級建築士事務所 エム・エー・エス アーキテクト
広島県竹原市中央2-14-8
広島県知事登録 23 (1) 第3827号
一級建築士 第194660号 増谷昌則

CHECKED BY	DRAWING BY	PROJECT NAME	NO.
		成井市営住宅浄化槽更新工事	
DRAWING TITLE		SCALE	DATE
制御盤参考図			令和8年度

M-13

1. 工事概要等
1. 工事名称 成井市営住宅浄化槽更新工事
2. 工事場所 竹原市下野町 2308-1
3. 建物概要
4. 工事種目
5. 指定部分
II. 工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
3. 機材の品質等

一般共通事項
7. 完成時の提出書類等
8. 足場
9. 工事用電力、水、その他
10. 監督職員事務所
11. 受注者事務所その他
12. 建設発生土の処理
13. 非破壊検査
14. 既存躯体への穿孔
15. あと施工アンカー
16. 電気工事事
17. 耐震施工

記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。
(2)別表-1に示す機材等を使用する場合は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。
(3)EM電線規格に適合するケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まないものとする。
(4)設計用鉛直地震加速度
(5)設計用水平地震力
(6)設計用鉛直地震加速度
(7)設計用水平地震力
(8)設計用鉛直地震加速度
(9)設計用水平地震力

28. 他工事との取合い
29. 天井仕上り区分
30. 配線図号その他
31. 適用区分
32. 呼び線
33. 露出配管の固定保護
34. 屋上・屋側等への設置機材の周囲処理
35. 官公署への手続き
36. 工事現場の表示
37. 交通誘導員
38. 工事中情報共有方法
39. 電子納品
40. 地質実地等への対応
41. 地中配管の埋設深さ
42. 照明制御の照度測定等
43. 照明制御装置設定器
44. アドレス設定器
45. 点検用リモコン
46. 配線器具
47. 照明器具
48. 非常照明測定の照度測定箇所
49. インバータ装置の規約効率
50. 動力設備
51. 構内交換機
52. 構内配電線路
53. 照明用ポール

(連続及び単独の場合、EBはD=14 L=1,500又はW=40 L=1,200とする)
(E、E、E、E、Eの場合、EBはD=10 L=1,000又はW=30 L=900とする)
(1)EFL1.6-20×2は、EFL1.6-40を使用してもよい
(2)Eケーブルの表記は警報用及び回転ケーブルを除き「EM」を省略する。
(3)EM電線規格に適合するケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まないものとする。
(4)設計用鉛直地震加速度
(5)設計用水平地震力
(6)設計用鉛直地震加速度
(7)設計用水平地震力

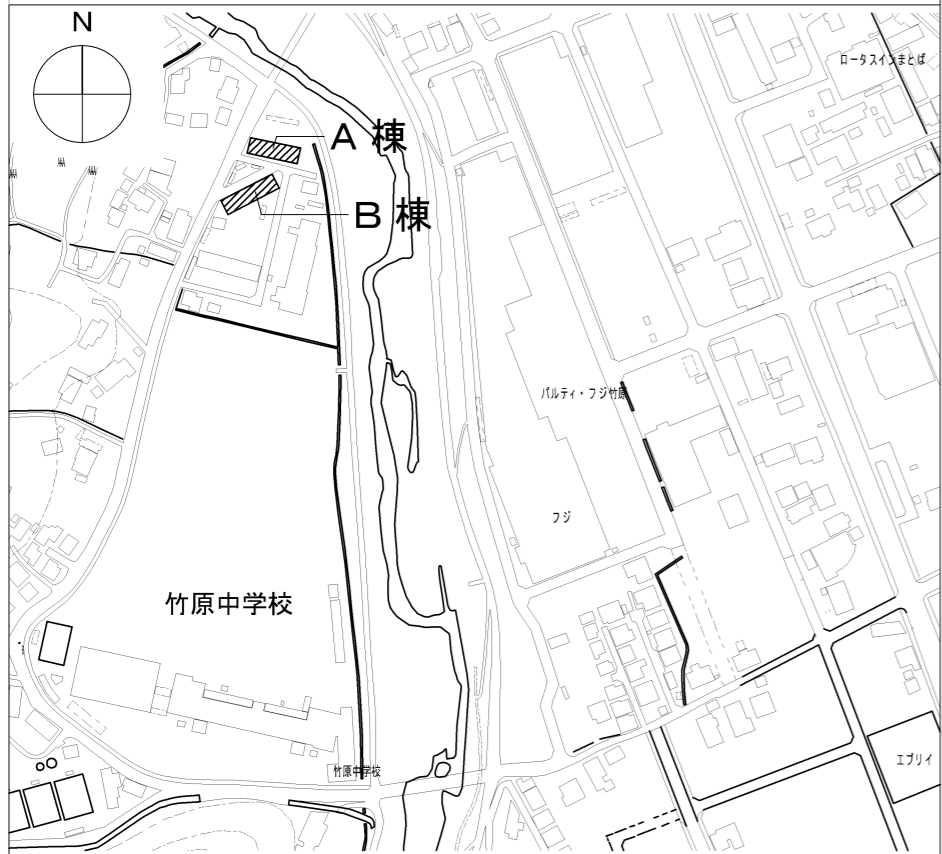
大 地 抵 抗 の 測 定
2. 接地システム
3. 受変電設備容量
4. 変圧器
5. 予備品等
6. 燃料小出槽
7. 燃料種別
8. 太陽光発電装置
9. パワーコンディショナ
10. 表示装置
11. 連系する電力系統
増幅器
拡声設備
その他
1. 機器取付高
2. 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。
3. 工事実績情報の登録について
4. 施工(業務)計画書への記載
5. 現場説明書による評価済み機材表

竹原市建設部都市整備課
設計者・設計事務所名
成井市営住宅浄化槽更新工事
電気設備工事特記仕様書
令和8年
図面番号
01

■ 工事名称・その他			
工事名称	成井市営住宅浄化槽更新工事		
建築用途	主用途 市営住宅		
工事場所	住居表示 竹原市下野町 2308-1		
工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修・用途変更・大規模の模様替・移転・取りこわし・模様替		

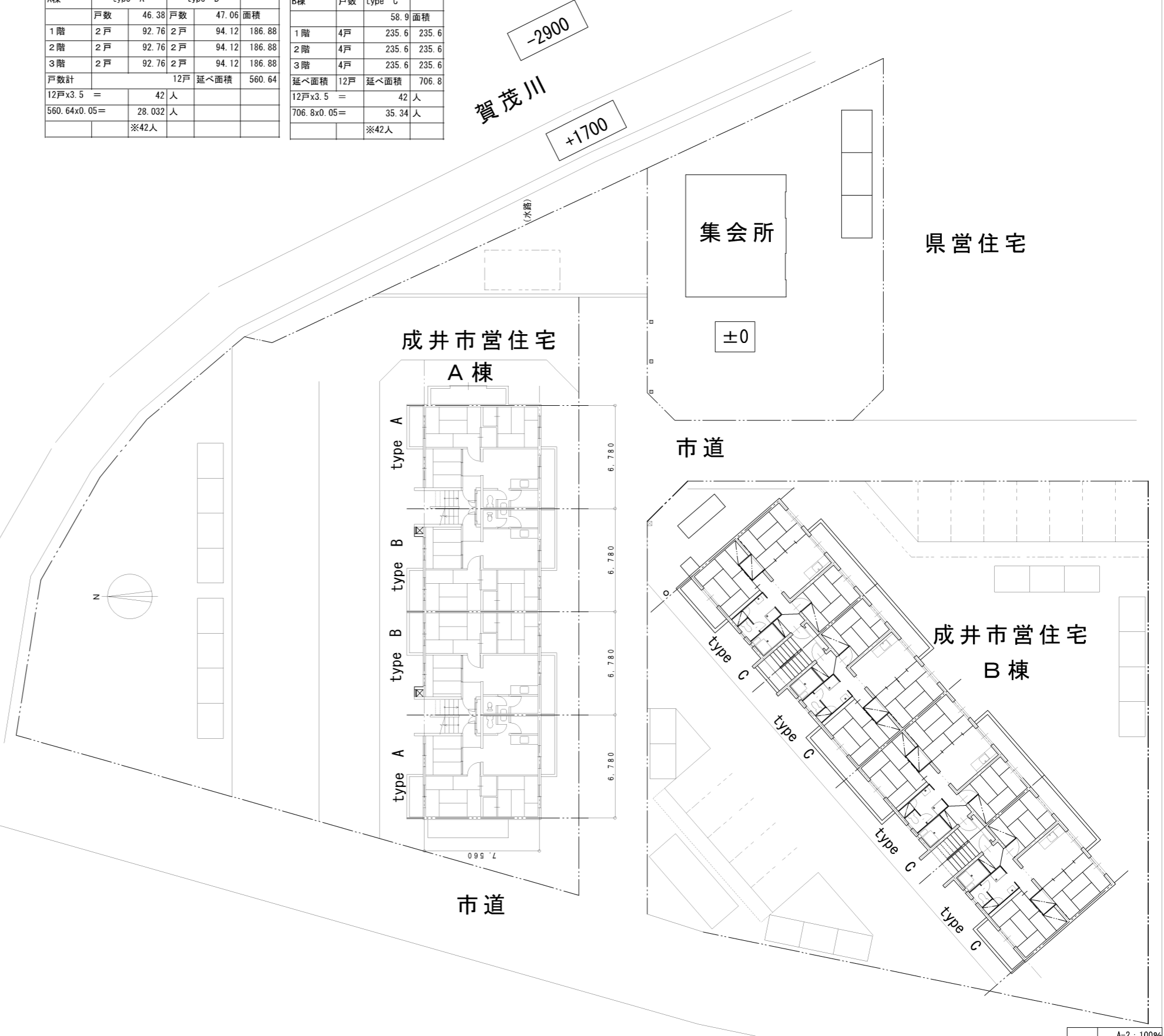
■ 構造・規模			
A棟	構造・規模	鉄筋コンクリート造、3階建	延床面積 1138.11
B棟	構造・規模	鉄筋コンクリート造、3階建	延床面積 1037.40

- 工事内容
- 成井市営住宅の浄化槽を単独槽から合併浄化槽へと更新する
- 機械設備
- 合併浄化槽(84人槽)を集会所敷地内に新設する
 - 合併浄化槽への汚水管接続(A棟及びB棟)、集会所は汲み取りのままとする
 - 雑排水管を汚水管、雨水管へ分離
 - 既存浄化槽(A棟、B棟共)の埋戻し、原水ポンプ槽(A棟)埋戻し
- 電気設備工事
- 浄化槽への電源供給
 - A棟、撤去原水ポンプ槽の電源配線利用、制御盤への接続
 - 集合計器盤(MCCB2P30/20A×1→30A)に取替

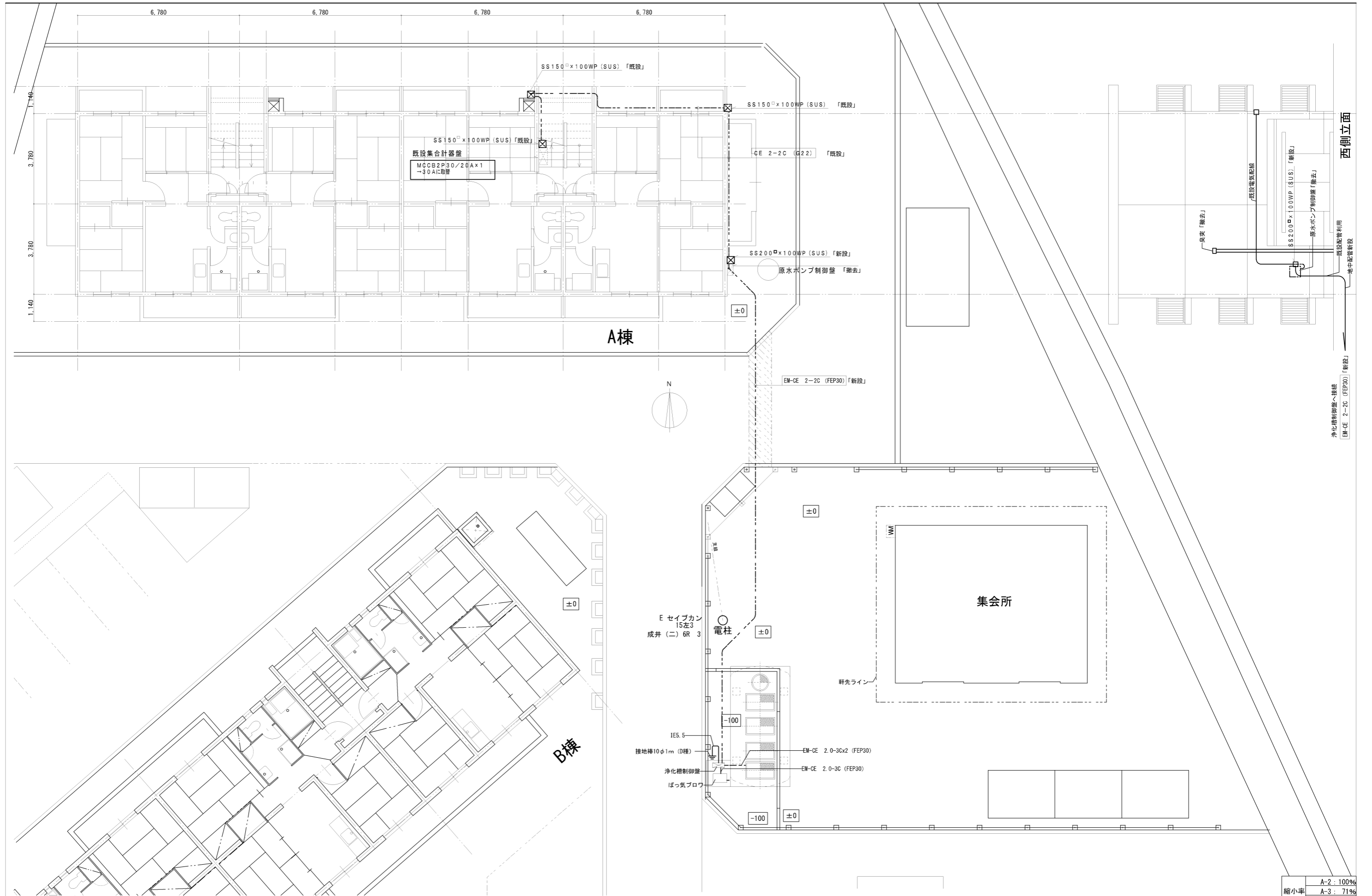


人員算定			
A棟	type A	type B	
	戸数 46.38	戸数 47.06	面積
1階	2戸 92.76	2戸 94.12	186.88
2階	2戸 92.76	2戸 94.12	186.88
3階	2戸 92.76	2戸 94.12	186.88
戸数計	12戸		延べ面積 560.64
12戸×3.5 =	42人		
560.64×0.05 =	28.032人		
	※42人		

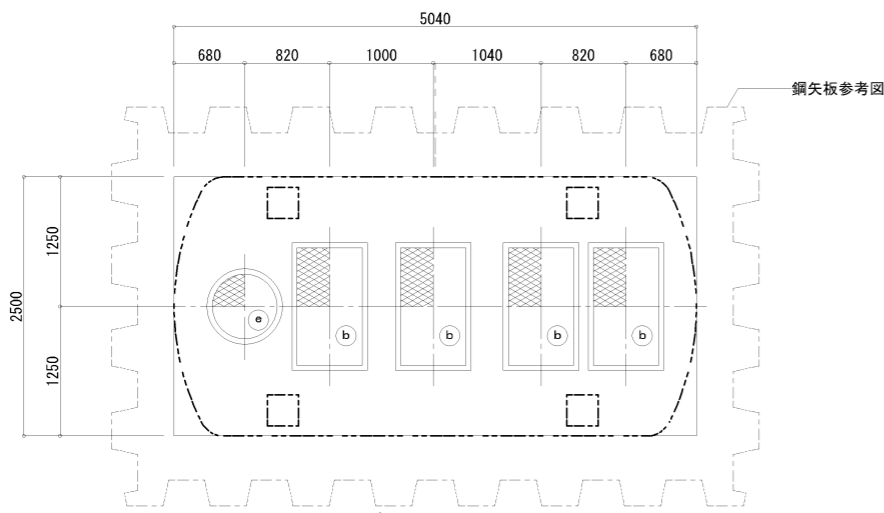
人員算定			
B棟	戸数	type C	面積
		58.9	
1階	4戸	235.6	235.6
2階	4戸	235.6	235.6
3階	4戸	235.6	235.6
延べ面積	12戸	延べ面積	706.8
12戸×3.5 =	42人		
706.8×0.05 =	35.34人		
	※42人		



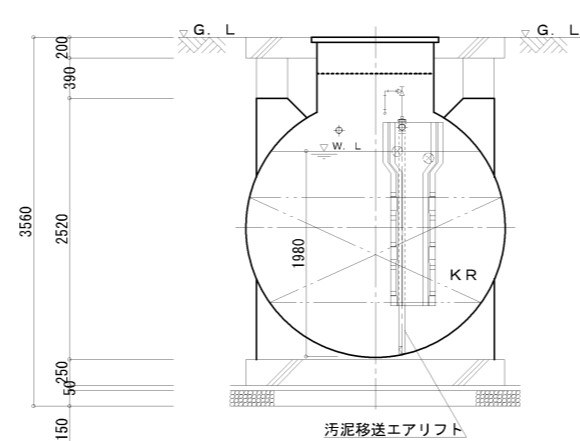
縮小率	A-2: 100%
	A-3: 71%
	A-4: 50%



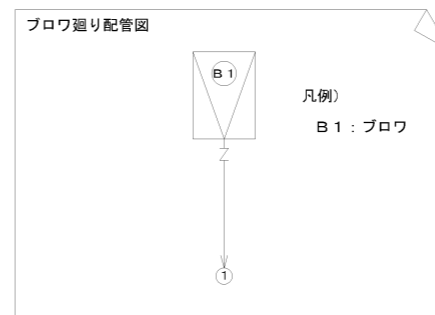
縮小率	A-2: 100%
	A-3: 71%
	A-4: 50%



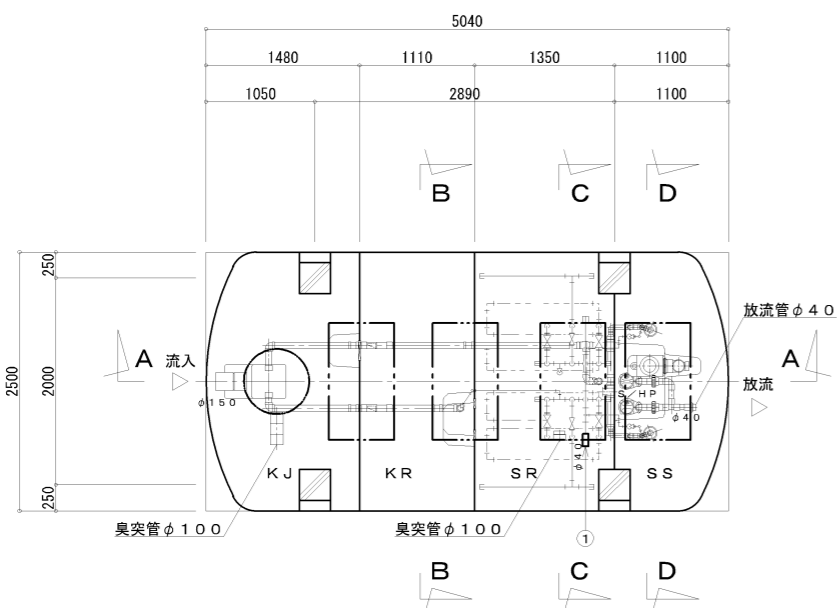
スラブ平面図 1/50



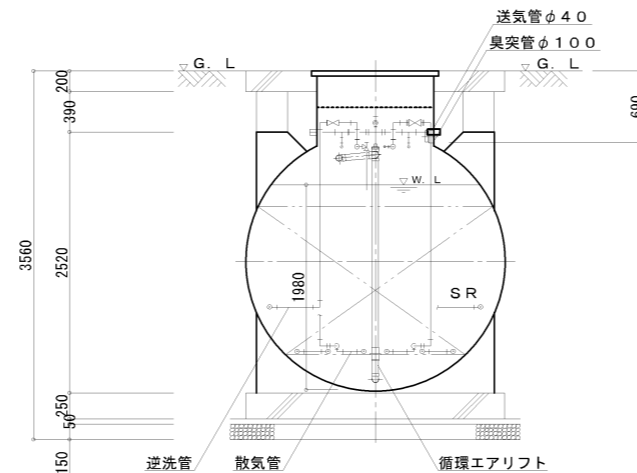
B-B断面図 1/50



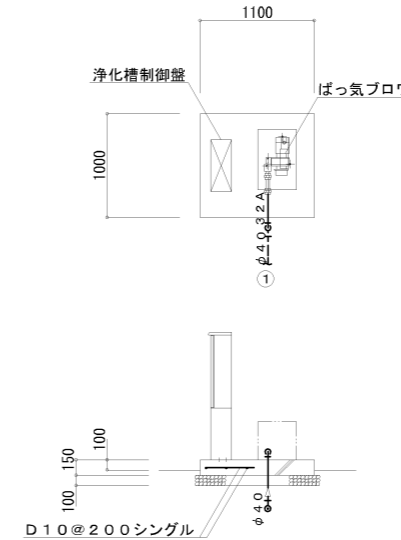
凡例
B1: ブロウ



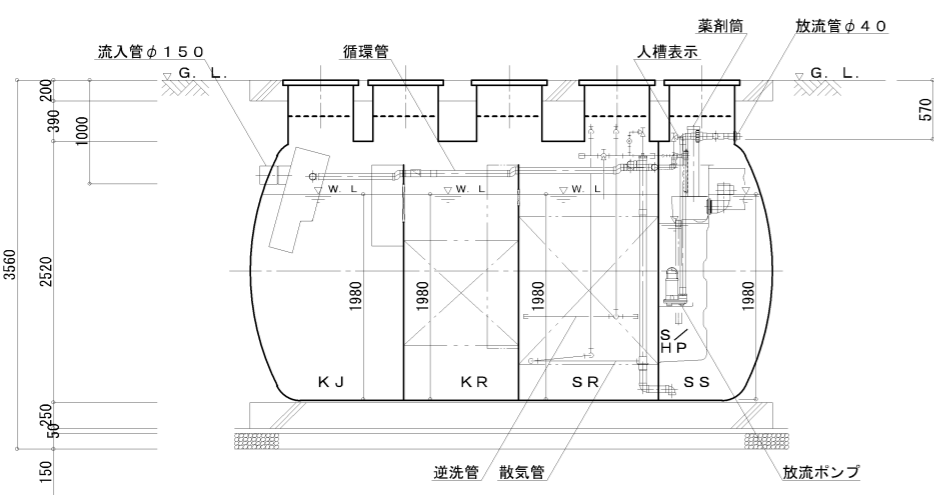
内部平面図 1/50



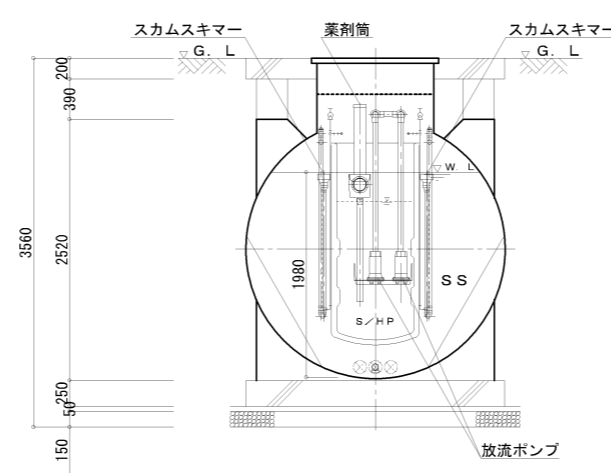
C-C断面図 1/50



ブロウ基礎参考図 1/50



A-A断面図 1/50



D-D断面図 1/50

流入水質		放流水質	
BOD	200 mg/L	BOD	20 mg/L

仕様表	
設計番号	OSB4680B
処理方式	接触ろ床方式
型式名称	フジクリーンプラント PVI-84A型 (PVA104)
処理対象人員	84人
計画汚水量	1.7m ³ (排水時間 12時間)
機器名称	仕様
ばっ気ブロウ	3.2A×0.75kW×0.63m ³ /min×1台
放流ポンプ	4.0A×0.15kW×0.09m ³ /min×2台

容積表		
記号	槽名称	実有効容量
KJ	夾雑物除去槽	5.09m ³
KR	嫌気ろ床槽	4.58m ³
SR	接触ろ床槽	5.42m ³
SS	処理水槽	2.80m ³
S/HP	消毒槽兼放流ポンプ槽	0.24m ³ /0.17m ³

開口蓋一覧表				
記号	呼称寸法	数量	仕様	材質
b	700×1200	4	500K	蓋: FRP, 枠: SS (亜鉛メッキ)
e	φ600	1	500K	蓋: FRP, 枠: FRP

配管仕様表	
露出配管 (ブロウ廻り)	SGP
土中配管	φ65以下~VP・φ75以上~VU
槽内配管	メーカー仕様

- 注1) 上部は乗用車荷重とする。
- 注2) 機器電源は単相100V、総電力は1.3kW一次側引込電容量は30A以上とする。
- 注3) 図中の「G.L」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からブロウまでの距離は10m以内とする。
- 注5) 臭突管は浄化槽に向かって下り勾配とし、管内部に水がたまらないよう施工すること。排出口は、近隣に影響を与えないよう、屋上など風通しの良い場所に設けること。
- 注6) 電気工事は二次側 (浄化槽制御盤以降) を浄化槽工事とする。一次側 (電源引き込み、アース引き込み) は電気工事とする。
- 注7) 外部警報接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8) 本設計条件における必要地耐力は5.2KN/m²以上必要とする。(実際の工事業者が確認後施工の事)
- 注9) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事、地盤調査は別途とする。
- 注10) 工事用水道使用料金 (水張用水費)、工所用仮設電源は別途とする。
- 注11) 埋め戻しは良質土にて行うこと。
- 注12) 散水栓13mm以上を作業可能な場所に設置のこと。
- 注13) 現状嵩上げ高さ: 300mm、最高嵩上げ高さ: 300mmまで
- 注14) 下記条件の場合は、浄化槽本体を補強仕様に変更する必要があります。(実際の工事業者が確認後施工の事)
 - ・嵩上げ高さが300mmを超える場合
 - ・地下水位がG.L-1000mmより高い場合
- 注15) 荷重影響線内に注1を超える荷重がある場合、擁壁の設置等が必要になります。

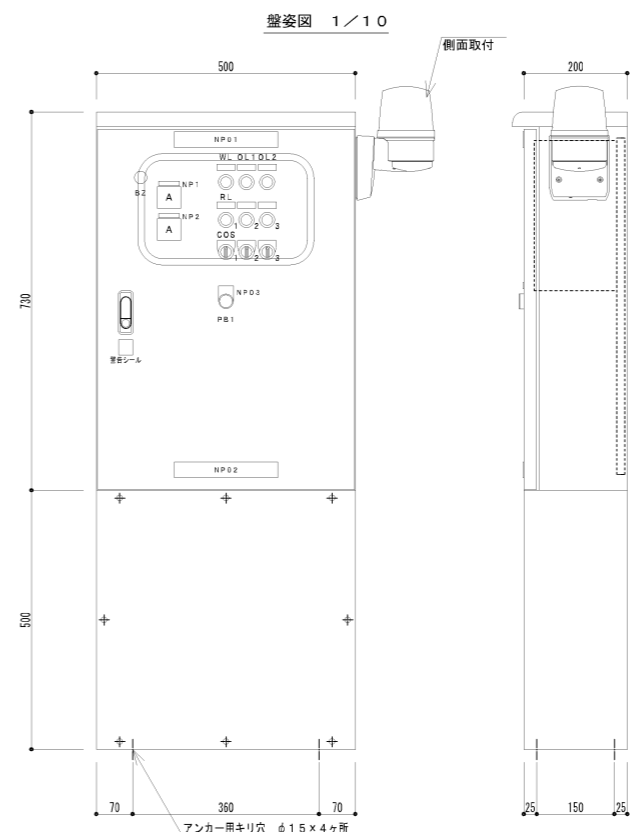
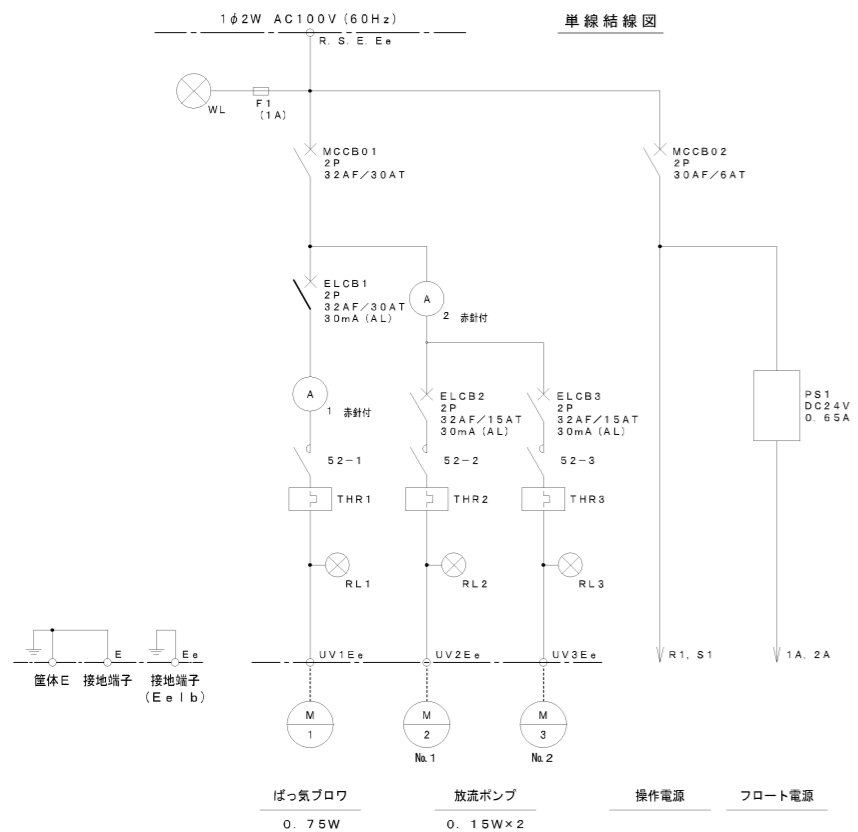
槽本体寸法・吊上目安重量
横型槽1 φ2500×5040L 目安重量: 2230kg

フジクリーンプラント PVI-84A型

[参考図面: フジクリン工業株式会社]

縮小率	A-2: 100%
	A-3: 71%
	A-4: 50%

<p>一級建築士事務所 エム・エー・エス アーキテクト 広島県竹原市中央2-14-8 広島県知事登録 23(1)第3827号 一級建築士 第194660号 増谷昌樹</p>	CHECKED BY	DRAWING BY	PROJECT NAME	成井市営住宅浄化槽更新工事	DATE	令和8年度	E-04
	DRAWING TITLE	SCALE	A1 A3	浄化槽参考図			



制御盤仕様

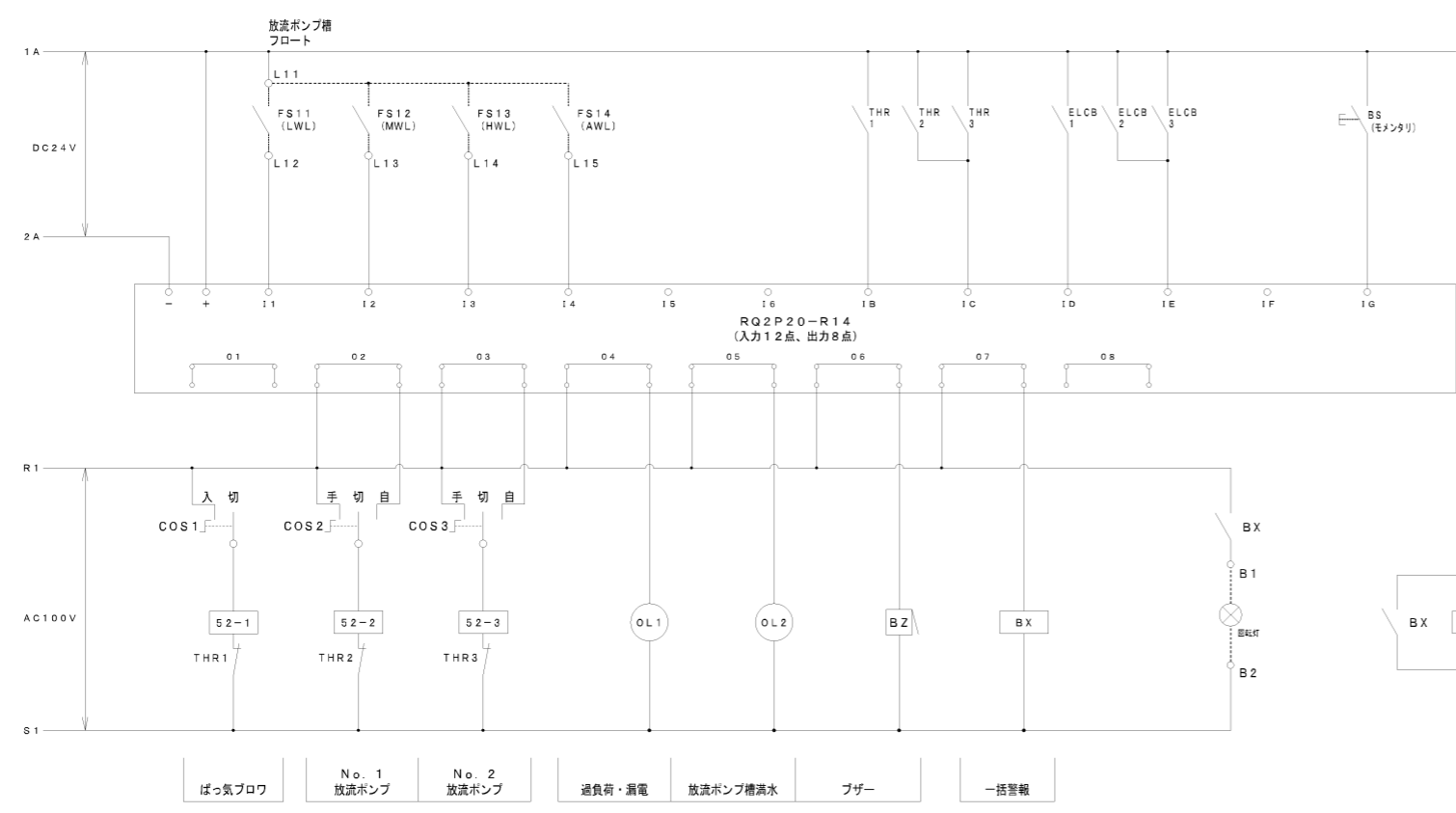
設計番号	OSB4680B
型式	PVR103 (HP) - EN
構造	水切、防水・防塵構造
板厚 (鋼板製)	本体 1.6t (中板 2.3t) 扉 1.6t
塗装	外面 マンセル5Y7/1 ※耐塩塗装 内面 マンセル5Y7/1 ※耐塩塗装

注) ランプは白熱球とする。

銘板表

記号	名称
NPO1	浄化槽制御盤
NPO2	フジクリン株式会社
NPO3	プザ-停止
NP 1	ばっ気ブロウ
NP 2	放流ポンプ

操作回路図



[参考図面：フジクリン工業株式会社]

縮小率	A-2 : 100%
	A-3 : 71%
	A-4 : 50%